

令和 3 年度国際化推進関連事業 事業実績一覧

【参考】国際化推進方針における主な取組

- 1 方針1「多文化共生のまちを育む環境づくり」
 (1) 多文化共生意識の醸成 (2) 外国人市民の活躍する場づくり
- 2 方針2「外国人市民も安心して暮らせるまちづくり」
 (1) コミュニケーション支援 (2) 生活支援 (3) 防災・安全対策支援 (4) 子どもの教育支援

主な取組	課等名	事業名	事業内容	決算額/予算額	実施結果
1(1)	企画政策課	異文化理解講座	市民への異文化理解を推進するため、外国人市民などを講師に、母国紹介を通して異文化交流をする。	50,000円 /60,000円	5回実施(参加者計116名) ①ハングラデシュ(14名)、 ②スウェーデン・土曜オンライン(46名)、③オーストラリア(16名)、④ペルー(17名)、 ⑤中国(23名) ※新型コロナウイルスの影響により、市民アカデミー共催回は中止。対面式は参加者を原則20名に限定。
1(1)	企画政策課	幼稚園・小中学校異文化理解推進事業	市立幼稚園及び小中学校に外国人講師を派遣し、母国紹介を通して異文化交流をする。	40,000円 /80,000円	2回実施(参加者計255名) ①滝野小(5年生63名)、 ②小倉台小(6年生192名)
1(1)	企画政策課	多文化共生意識啓発講座	市職員を対象に多文化共生意識啓発のため研修会を実施する。	0円 /50,000円	1回実施(参加者28名) 「やさしい日本語によるコミュニケーション～多様な市民にわかりやすく～」講師：坂内泰子氏(一般財団法人自治体国際化協会地域国際化推進アドバイザー) ※講師謝礼は自治体国際化協会が負担
1(1)・(2) 2(1)・(2)	企画政策課	印西市国際交流協会事業支援	市の国際化推進に係る施策の一翼を担う市国際交流協会の事業を支援するため、補助金を交付する。	500,000円 /500,000円	補助金を交付した。
1(1)	シティプロモーション課	東京オリンピック・パラリンピック誘致等推進	東京オリンピックに向けた事前キャンプの受入	22,236,038円 /53,049,000円	順天堂大学と連携し、東京オリンピック体操競技のアメリカ女子代表チーム、オランダ代表チーム、アイルランド代表選手の事前キャンプの受入れを行った。
1(1)	保育園	ハローフレンズ	市立保育園児が外国人講師とその講師の母国語を使って触れ合うことにより、他の国の言語や文化に親しむ。	31,500円 /87,500円	【木刈保育園】新型コロナウイルスの影響により中止。 【内野保育園】4回56名(1回につき14名)新型コロナウイルスの影響により縮小。 【高花保育園】2回36名(1回につき18名)新型コロナウイルスの影響により縮小。 【西の原保育園】2回42名(1回につき21名)新型コロナウイルスの影響により縮小。 【もとの保育園】1回23名(1回につき23名)新型コロナウイルスの影響により縮小。
1(1)	指導課	イングリッシュアカデミー ジャンプ(中学生海外派遣研修)	市内在住の中学生を海外に派遣する。	0円 /9,583,165円	新型コロナウイルスの影響により中止。

1(1)	指導課	国際理解教育推進事業	外国語活動等英語教育において実践的コミュニケーション能力を育成するため、英語を話す外国語指導助手を市立小中学校に配置する。また、年間10日程度、市立幼稚園にも派遣する。	59,774,000円 /59,774,000円	外国語指導助手13名を配置し、小学校・中学校における英語教育の充実及び実践的コミュニケーション能力の育成を図った。また幼稚園に年10日程度配置し、異文化を体験するとともに、英語への興味・関心を高めた。
1(1)	指導課	小学校英語教育	外国語科・外国語活動における学習の充実のため、全小学校に日本人の英語教育コーディネーターを配置する。	8,284,500円 /10,988,000円	全小学校（18校）に9名の英語教育コーディネーターを配置し、外国語科・外国語活動における学習の充実を図った。
1(1)	指導課	イングリッシュアカデミー ホップ・ステップ	夏季休業中に小学3・4年生及び5・6年生を対象に英語でコミュニケーションを図る楽しさを体験し、英語運用能力の育成を図る。	29,455円 /41,035円	7月の夏季休業中に、小学3・4年生対象の「イングリッシュアカデミー ホップ」を半日（計2回）と、5・6年生対象の「イングリッシュアカデミー ステップ」を半日（計2回）を松山下公園体育館にて実施した。派遣会社ハートコーポレーションからALTを派遣した。印西市国際交流協会によるボランティアの協力を得た。
1(1)	市国際交流協会	語学（英語・中国語・韓国語）講座	階級別けたクラスで、各語学の習得の場として実施。	—	市内3箇所で開催した。 英語 ・月曜入門クラス（協会事務所）：34回（平均4人） ・水曜中級クラス（中央駅前地域交流館）：41回（平均11人） ・金曜初級クラス（中央公民館）：21回（平均8人） 中国語 ・月曜入門クラス（協会事務所）：34回（平均4人） ・金曜初中級クラス（中央駅前地域交流館）：11回（平均10人） 韓国語 ・月曜入門クラス（協会事務所）：34回（平均2人） ・木曜初中級クラス（中央公民館）：27回（平均10人） ※新型コロナウイルス感染防止のため、緊急事態宣言中などは中止した。
1(1)・(2)	市国際交流協会	外国人市民との交流事業	外国人市民を対象にイベントを実施し、外国人同士の交流や日本人との交流を促進する。 ※一部、企画政策課との共催事業	—	創立20周年記念事業として竹花晃氏による講演会「ネパールヒマラヤ ドルボトレッキングー河川 慧海の道をたどる」、フレンドシップカフェ、ワールドフェスト、バスツアー（国際交流を楽しむ川めぐりといも煮の集い）等のイベント、木下骨董市への出店を実施。

1(2) 2(3)	防災課	防災訓練等防災意識啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、地域住民の災害に対する防災意識の高揚と防災力の育成、関係機関との連携強化等、有事に備えた各種訓練を実施する。 また、自治会・自主防災組織に呼びかけ、外国人市民の積極的な訓練参加を推進する。 ・4か国語版の総合防災ブックを更新し、防災意識啓発に努める。 ・スマホアプリと連携し、多言語による災害情報等の配信を実施する。 	11,353,952円 /3,045,400円	新型コロナウイルスの影響により、例年のような各種訓練は中止し、避難所設置、資機材使用訓練、備蓄品展示等規模を縮小して行った。総合防災ガイドブックは多言語で読み上げ対応できる機能を搭載し、市内全戸に配布した。スマホアプリと連携し、多言語による災害情報等の配信を実施した。
1(2)	企画政策課	印西市国際化推進懇談会	市の国際化推進について、国際交流関係者、学識経験者、公募市民、外国人市民を委員とした会議を設置し意見交換する。	67,500円 /185,000円	1回実施(2回予定) ※新型コロナウイルスの影響により1回中止
2(1)	秘書広報課	印西市公式ホームページ運用管理委託	速報性に優れたインターネットの特性を活かし、市政に関するさまざまな情報を迅速かつ確実にホームページを活用して提供する。 ※契約期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日	2,894,760円 /2,895,000円	ホームページの翻訳機能を活用した市政情報の提供に努めた。また、多言語(英語、中国語(中文簡体・中文繁体)、韓国語)の翻訳精度の向上を図るため、職員研修を通じ、ホームページ作成の際にやさしい日本語に配慮したり、逆翻訳を行うよう周知した。
2(1)	企画政策課	広報いんざい1日号(抜粋)英語版作成	外国人市民への情報提供を充実させるため、広報紙の抜粋を英訳し、市役所や公民館等への設置や、市ホームページに掲載する。	324,000円 /324,000円	年12回発行(月平均180部)、市HP掲載
2(1)	企画政策課	広報いんざい15日号「外国人のみなさんへ」掲載	外国人市民への情報提供として、広報いんざい15日号に「外国人のみなさんへ」を掲載する。	—	年12回掲載
2(1)	企画政策課	(新規)行政資料多言語化推進事業	庁内の行政資料の多言語化のため、翻訳を希望する文書を募り、仲介を行う。	25,000円 /25,000円	市国際交流協会に、文書の翻訳を依頼した。(4課で実施：防災課、納税課、生涯学習課、企画政策課)
2(1)	企画政策課	(追加)庁内行政組織の多言語化	上記の行政資料多言語化推進事業を活用し、課名等の行政組織を多言語化する。	—	上記の行政資料多言語化推進事業を活用し、英語・中国語簡体字・韓国語版を作成した。
2(1)	企画政策課	(追加)通訳支援試行事業	行政窓口における外国人対応のための電話通訳サービス(二者間通話・三者間通話) ※実施予定期間：令和3年7月1日～令和4年3月31日	—	7課で実施(企画政策課、市民課、国保年金課、印旛支所市民サービス課、社会福祉課、子育て支援課、健康増進課)
2(1)(2)	企画政策課	(新規)日本語サポーター養成講座	日本語を学ぶ外国人市民を支援するボランティアを養成する。	100,000円 /120,000円	6月～9月に連続講座として5回実施(参加者27名) 講師：萬浪絵里氏(地域日本語教室養成コーディネーター) ※新型コロナウイルス感染防止のためオンラインで実施。

2(1)(2)	市国際交流協会	日本語教室	外国人市民を対象に日本語習得を支援するとともに、他の外国人や日本人との交流機会を提供する。	—	市内6箇所で開催、実施した。 ・火曜日クラス（ふれあいセンターいんば） ・水曜日クラス（中央駅前地域交流館） ・木曜日クラス（中央公民館） ・土曜日昼クラス（5～2月はそうふけふれあいの里、4、3月はそうふけ公民館） ・土曜日夜クラス（牧の原地域交流センター） ・日曜日クラス（小林公民館）
2(2)	市国際交流協会	外国人のための無料相談	外国人市民を対象に、行政書士による法律や生活に関する相談窓口を設置する。 ※企画政策課と共催	—	年12回開催（毎月第2金曜日の午前10時～午後4時）。 相談件数0件
2(2)	納税課	（追加）英語版保証人届の作成	上記の行政資料多言語化推進事業を活用し、仮ナンバーの保証人届英語版を作成する。	—	上記の行政資料多言語化推進事業を活用し、仮ナンバーの保証人届英語版を作成した。
2(2)	クリーン推進課	ごみの減量化・再資源化事業	家庭ごみのごみ出しルールをまとめた「資源物とごみの分け方・出し方」のやさしい日本語版（平成30年度作成）、外国語版（英語・中国語・韓国語：平成27年度作成）を引き続き配布する。	93,500円 /85,000円	「資源物とごみの分け方・出し方」のやさしい日本語版（平成30年度作成）、外国語版（英語・中国語・韓国語：平成27年度作成）を引き続き配布した。なお、英語版については在庫が少ないため発注を行った（500枚）。ごみ分別アプリ「さんあーる」の外国語対応について、引き続き検討を行う。
2(2)	商工観光課	観光振興事業	「まっぶる印西市」英語版の配布	—	令和2年度に「まっぶる印西市」英訳版2,000部を増刷し、市役所、支所、観光イベントなどで配布した。
2(2)	健康増進課	外国語版母子健康手帳の発行	言語の差異なく母子保健に関する知識普及を図り、必要な保健サービスが受けられるようにするため、日本語が分からない家庭の妊娠届出の際に、母子健康手帳を外国語版（10言語対応：英語・中国語・韓国語・タガログ語・タイ語・ポルトガル語・インドネシア語・スペイン語・ベトナム語・ネパール語）で発行する。	18,480円 /17,000円	妊娠届出の際、届出者の申し出により外国語版の母子健康手帳を発行した。 外国語版母子健康手帳発行実績18冊 （英語10冊、中国語2冊、タガログ語1冊、ネパール語1冊、ベトナム語4冊）
2(2)	健康増進課	英語版健診票等の作成	外国人市民の健康問題の早期発見及び育児不安の軽減等を目的とし、各種相談等で使用している書類を翻訳し理解を深め対応につなげる。	60,000円	「妊娠届出書」や「お誕生お知らせカード」等、妊娠から出産時に関わる必要な申請書類を中心に英語版を作成し活用する。 ※未実施
2(2)	生涯学習課	（追加）多言語による木下貝層説明版の作成	上記の行政資料多言語化推進事業を活用し、木下貝層説明版にQRコードを活用した多言語版を作成する。	148,500円 /176,000円	上記の行政資料多言語化推進事業を活用し、英語・中国語（簡体字・繁体字）・韓国語版を作成した。
2(3)	防災課	（追加）避難所看板の外国語チェック	上記の行政資料多言語化推進事業を活用し、避難所看板の外国語をチェックする。	—	上記の行政資料多言語化推進事業を活用し、英語・中国語簡体字・韓国語をチェックした。
2(4)	学務課	日本語指導員の配置	日本語の分からない児童生徒に基礎的な日本語指導や学校生活を含めた日常生活のルールを教える。	1,227,441円 /907,200円	小学校5校、中学校1校に4名配置。